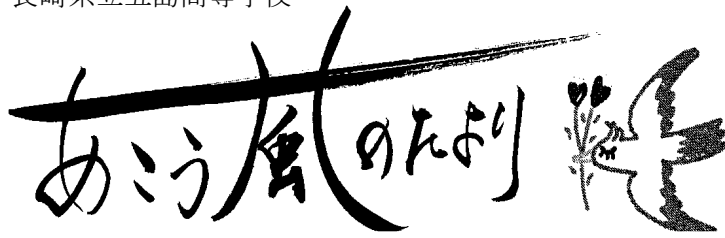


長崎県立五島高等学校

第7号 令和5年10月31日 発行



10月



今月の行事予定表など、学校の最新情報を五島高校ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

発行責任者

校長 猪股 英介

http://
www2.news.ed.jp/
section/goto-h/



【校長室より】

「人生は敗者復活戦」

8月、宮城県仙台市で開催された全国高等学校PTA連合大会に参加してきました。その中で、今年の夏の甲子園で準優勝した仙台育英高校野球部の須江航監督の講演を聞く機会がありました。須江監督の人生経験から語られた一つひとつの言葉には重みがあり、6000人の聴衆の心がわしづかみにされました。仙台育英高校は今年の夏の甲子園で優勝し、今年は連覇がかかっていたチームです。昨年優勝した時の「青春ってすごく密なので」という監督の言葉は、その年の流行語大賞に選ばれるなどマスコミでも話題になり、今年も優勝が期待されていました。

しかし、「脱丸刈り」や大応援団でこちらもマスコミで大きく取り上げられた、神奈川県代表の慶応高校に決勝で敗れてしまいました。その時に須江監督が使った、「人生は敗者復活戦」という言葉が今年も話題になりました。この講演の中で須江監督は、「大切なのは挫折との向き合い方であり、挫折のない人生なんて存在しないし、面白くないんです。だからこそ人は人生において挑戦するし、その挑戦は、ちょっとずつでも構わないので、何かを変える取組をすることが大切なんです。」と話されていました。この話にも私も大いに共感しました。目の前の困難から逃げ出すことなく、何事にも挑戦し続けること、そして、たとえそれが失敗であっても良いし、ある意味で失敗すること、失敗させることが次の挑戦につながるのだと思います。人の生活を考えてみても、成功ではなく、失敗に学ぶことの方が多くのように思います。

今、皆さんは毎日の生活の中で、何かに挑戦しているでしょうか。「しょうがないや」とか「もう無理」とか言って、挑戦することを止めたり、躊躇したりしていないでしょうか。五高での3年間は、「すごく密な」高校生活です。是非、思い切り挑戦を続けてください。

福江みなとまつり

10月1日(日)に福江みなとまつりが開催され、本校からは生徒、PTA、職員を合わせて総勢約240名で参加しました。生徒は、創立123年を迎える本校の絆の象徴である「五島成公とバラモンねぶた」を担ぎ、吹奏楽部のマーチング演奏と共に、大きな盛り上がりを見せました。「たくさんの地域の方々から『五島高校頑張れ!』や『すごい!』などの声をかけてもらい、地域との一体感を強く感じた」という生徒の感想もあり、伝統行事に貢献し、地域との絆を感じる貴重な機会となりました。



共通テスト100日前集会

10月5日（木）に保護者の方々のご臨席のもと、メモリアルホールにて「大学入学共通テスト100日前集会」を実施しました。保護者代表の泊（とまり）様からの「成功哲学」で有名なナポレオン・ヒルの言葉を交えながらの熱いエールをはじめ、学校長や進路主任、学年主任からの激励が行われました。生徒代表の藤原千鈴音さんは「学年のスローガンである“覚悟と執念”をもって、みんなで一致団結して頑張ろう。」、同じく生徒代表の山口輪太郎さんは「私はこの学年が大好きです。一緒に様々なことを乗り越えた私たちと一緒に、どんな困難でも乗り越えていけるはずですよ。」と、今後の戦いに向けての想いを述べました。

いよいよ、3年生は「自分と勝負する」時に突入します。



戴帽式

10月11日（水）に第50回戴帽式を挙行了しました。

衛生看護科1・3年生、来賓及び家族に見守られる中、ナースキャップとハンカチーフを授与され、全員でナイチンゲール誓詞を暗唱し、翌日からの病院実習に向け誓いを立てました。3年生から「命の灯」を引き継ぎ、2年生の山下美希さんは「患者様の命を預かる者としての自覚と責任を持ち、思いやりの姿勢で患者様の心に寄り添います」と力強く決意を述べました。2年生は来年10月までの1年間、病院実習に臨みます。



交通講話

10月17日（火）に五島警察署交通課の佐々孝明課長様と岩崎優希様にお越しいただき、交通安全に関すること、SNSに関することについてご講話いただきました。現在多発しているSNSトラブルについての動画や五島市内の事故の映像を見せていただき、より身近な問題として考える機会になりました。また、ルールを守ることの大切さを再確認できました。ありがとうございました。